

科目・担当教員	内 容 <small>※授業内容は変更になる場合があります。</small>
<p style="text-align: center;"><b>心理学</b> (飯塚 由美)</p>	<p>個人の心の特性と社会における人間行動を理解し、その基本理論や知識の修得を目標とする。(1)多様な心理学の分野とその歴史や基本理念の理解(2)感覚・知覚、学習、記憶、感情・動機づけ、発達、臨床などの分野(3)性格・パーソナリティ、社会と人間行動・心理、また、地域や社会との関わりなど応用的な心理学の分野についての基礎理論を修得する。自分たちが日常的に考え、行ったりしていることを、こころの科学として実証的に考察した主要な研究や実験を紹介し、人間への理解を深める。</p>
<p style="text-align: center;"><b>脳科学と心</b> (内山 仁志)</p>	<p>思考、認知、記憶、情動、意思、行動などに関連する脳科学の知見を通じて、人間理解の可能性と脳科学が果たす役割について学ぶ。ヒトの神経系(脳)の構造と脳の機能局在について理解を深めることを目標とする。歴史的経緯を踏まえつつ臨床症例や研究知見を神経科学的手法(脳波・fMRI・TMS・PETなど)とともに紹介する。また神経神話(脳に関する迷信)問題について、課題発見解決型学習(PBL)を通じて、その理論的根拠や妥当性を論理的に検討していき、巷に氾濫する誤った脳科学情報にきちんと対処できる知識を修得する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>健康スポーツ概論</b> (岸本 強)</p>	<p>競技スポーツや健康の保持・増進のためのスポーツ、スポーツを活用した健康生活について学ぶとともに、大学生として心得ておくべきスポーツ政策についての概要や現代的諸問題について学修する。また、スポーツ活動を通じたパーソナリティー形成や社会性の発達についての知識を修得し、スポーツ活動によってもたらされるプラス面の効果や留意すべきことについて正しく理解し、競技スポーツ・健康スポーツ・生涯スポーツの見方・考え方についての学修を深める。</p>
<p style="text-align: center;"><b>教育原理(小・幼)</b> (廣田 佳彦)</p>	<p>そもそも教育とは何かについて、学生諸氏とともに考えていきたい。具体的には、西洋教育思想の歴史的展開をふまえて、人間観・子ども観・教育観そして教育の理念・目的について講述する。特に、現場におけるさまざまな問題を具体的に取り上げ、そしてその本質探究を契機に、幼児・児童・生徒へのかかわりについて考えを深めていく。</p>
<p style="text-align: center;"><b>発達心理学Ⅱ</b> (山下由紀恵)</p>	<p>「発達心理学Ⅰ」で学んだ基礎的知識を踏まえて、家庭・地域社会と、保育所・幼稚園および小学校で、日々成長を遂げる子どもの発達について、保育教育専門職として正しく理解することを目標として、発達支援・発達臨床の基本を学ぶ。発達心理学および臨床発達心理学の理論から、子どもの発達の行動分析の基本を学び、生活と遊びを中心に見た子どもの発達における保育教育実践の意義と、専門職の実施する発達支援プログラムの役割を理解する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>社会的養護</b> (藤原 映久)</p>	<p>社会的養護の理念、歴史、児童の権利など社会的養護の概念を理解するために必要な基礎的知識を学んだうえで、社会的養護を支える制度、法律、体系、専門職について取り上げる。また、社会的養護が必要となる主因の一つである児童虐待について、基礎的知識からその発生予防及び再発防止と治療的関わりまでを学んだうえで、要保護児童全般に対する養育・支援に関して、ソーシャルワークの原理と実践技術について学ぶ。さらに、社会的養護における今日的な課題として、被措置児童等虐待の防止及び地域福祉についても考える。</p>
<p style="text-align: center;"><b>体育Ⅰ</b> (岸本 強)</p>	<p>児童の運動機能の特徴や年齢の特徴を知り、体づくり運動、器械・器具を使う運動(遊び)、ルールのある運動(ゲーム)、走・跳の運動など、学習指導要領に定められる全領域について環境構成及び具体的展開のために必要な知識や指導技術を修得し、体育の授業が運営できるようにする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>観光まちづくり論</b> (竹田 茉耶)</p>	<p>「観光まちづくり」の概念や、その概念が登場した背景(まちづくりと観光が結びつくプロセス)について学び、観光まちづくりの現状や特徴、課題について議論することを目的とする。まずは、まちづくりと観光、それぞれの展開を理解した上で、両者が結びつくプロセスについて理解する。その上で、具体的な事例を参照しながら、「観光まちづくり」といわれている取り組みの現状や特徴を学び、これらの課題について議論する。</p>